

TOTO

フラッシュバルブ(小便器洗浄弁13)

T600型
TG600型

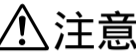
商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。




1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)


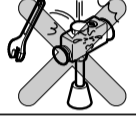
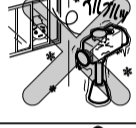
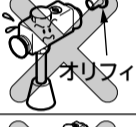

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

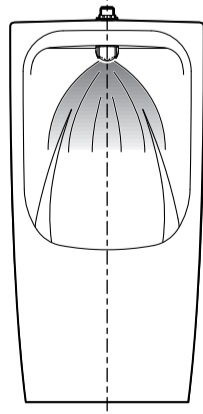
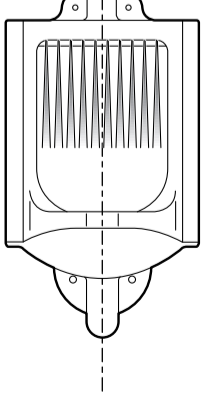
 禁止	してはいいない「禁止」内容です。
 分解禁止	分解しないでください。
 必ず実行	必ず実行していただく「強制」内容です。


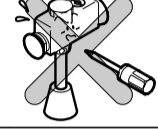




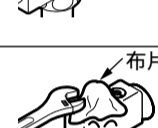
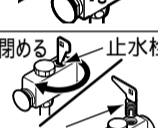
注意		
 禁止	強い力や衝撃を与えないでください。 故障・水漏れの原因になります。	
	一般地用 凍結のおそれがある場所では使用しないでください。 部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。	
	本体の通水路には抵抗となるようなオリフィスなどをつけないでください。 洗浄性能への悪影響や水漏れのおそれがあります。	
	寒冷地用 凍結防止弁は凍結防止以外の目的で開けないでください。 開けたままにしておくと、ムダに水を捨てることになります。	

2 仕様

給水圧力	使用必要水圧	0.07MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
給水接続部		15A(ねじサイズPJ1/2)
使用環境温度	一般地用	1~40
	寒冷地用 (流動方式)	-10~40 (ただし、0以下では給水圧力0.10MPa以上、 水温4以上の状態)
使用可能水質		水道水

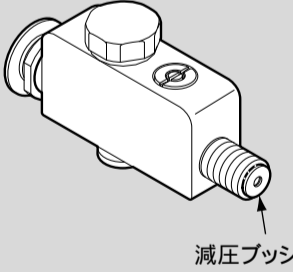
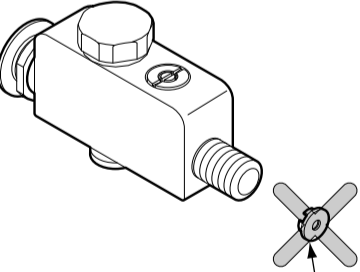
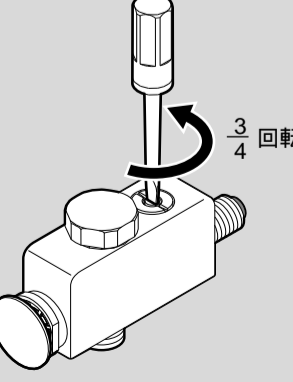
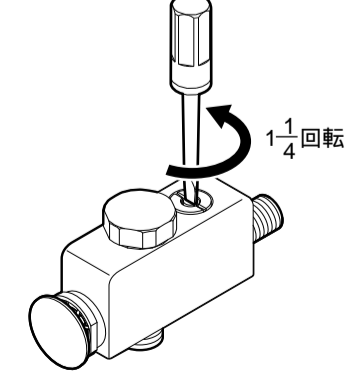
3-1 取り付け前に

洗浄方式	スプレッター洗浄方式	淀掛け洗浄方式
洗浄水の 流れ方	小便器上部のスプレッターから放射線状に洗浄水が出る。 	小便器上部のリム部に多数の小穴があり、そこから洗浄水が出る。 
標準洗浄水量	2~6L	4~8L
小便器品番 (代表)	U500型など	U370型など

注意	
 分解禁止	この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。 破損して、けがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 
 必ず実行	取り付け接続部に腐食、ひび割れ、水漏れなどのないことを十分お確かめのうえ、お取り付けください。 故障・水漏れの原因になります。 
	定期的(年2回)に、配管まわりを見て水漏れがないか確認してください。 部品の劣化・摩擦などによる水漏れが発見できず、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 
	寒冷地用 凍結のおそれがある時期は、凍結防止弁を確実に開けてください。 閉めたままにしておくと、内部の水が流動しないため凍結して部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 
	めっきされた部分にモンキーレンチなどを用いる場合は、めっきを傷つけないように必ず布片をはさんでください。 めっきがはがれ、けがをするおそれがあります。 
	フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターをゆるめずに、止水栓を閉めてから行ってください。 水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 

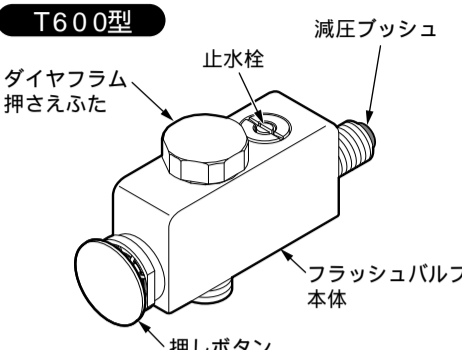
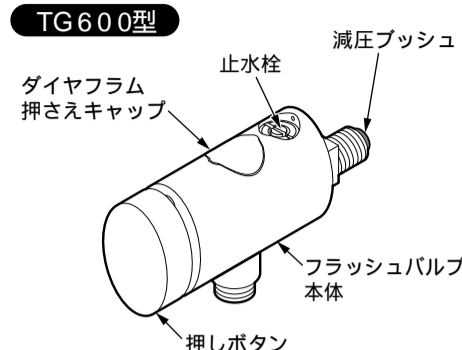
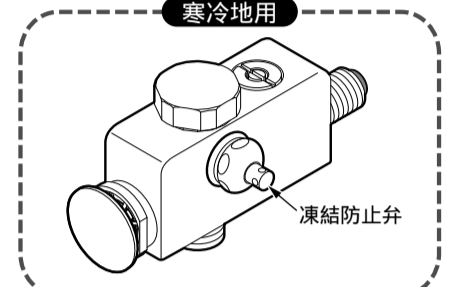

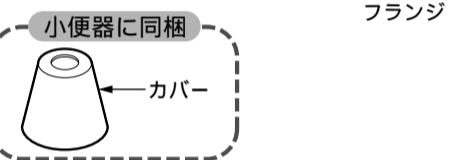

3-2

本商品は、どちらの洗浄方式にも対応可能です。
工場出荷時はスプレッター洗浄方式の状態でお届けしています。
淀掛け洗浄方式の場合は下図の要領に従って別途調整して取り付けください。

洗浄方式	スプレッター洗浄方式 (工場出荷時の状態です)	淀掛け洗浄方式 (別途調整が必要です)
減圧ブッシュ	必ず減圧ブッシュをつけたまま取り付けしてください。 	必ず減圧ブッシュを外して取り付けしてください。 
止水栓調整の目安	洗浄水量 = 4L(0.2MPaの時) 全閉後、反時計回り方向に $\frac{3}{4}$ 回転戻してください。 	洗浄水量 = 6L(0.2MPaの時) 全閉後、反時計回り方向に $1\frac{1}{4}$ 回転戻してください。 
水圧により水勢が異なりますので、小便器の洗浄状態を確認して調整してください。		

4 部品の確認

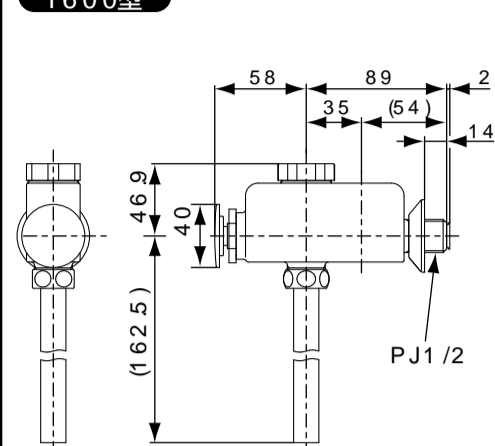
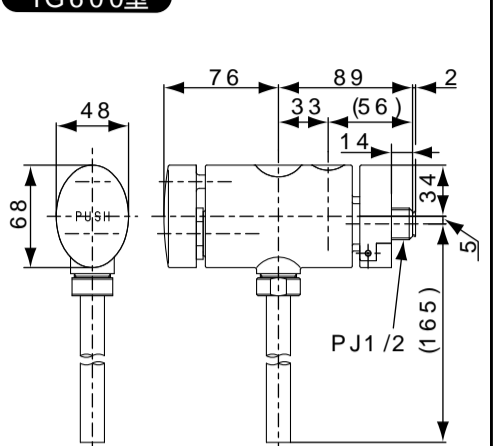
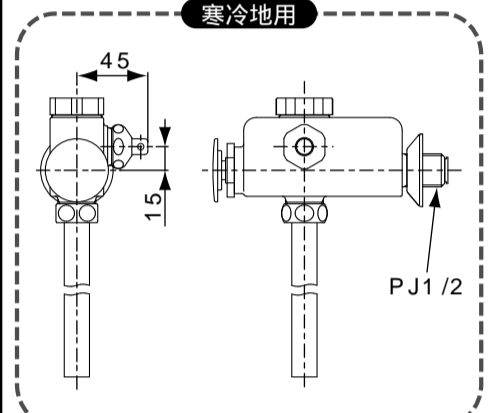
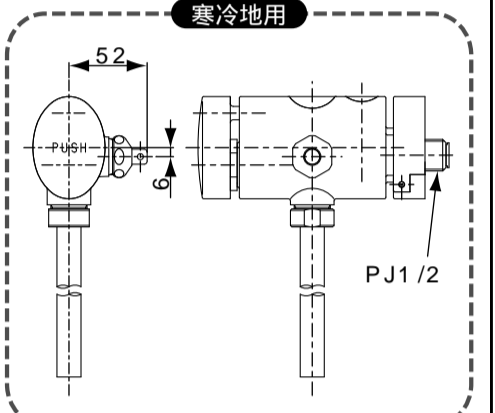
次の部品があることを確認してください。

本体部	
<p>T600型</p>  <p>ダイヤフラム 押さえふた 止水栓 減圧ブッシュ フラッシュバルブ 本体 押しボタン</p>	<p>TG600型</p>  <p>ダイヤフラム 押さえキャップ 止水栓 減圧ブッシュ フラッシュバルブ 本体 押しボタン</p>
<p>寒冷地用</p>  <p>凍結防止弁</p>	<p>寒冷地用</p>  <p>凍結防止弁</p>
<p>パッキン 洗浄管 袋ナット フランジ</p>	<p>パッキン 止水栓 キャップ フランジ カバー 止めねじ カバー</p>
<p>小便器に同梱</p>  <p>カバー</p>	<p>小便器に同梱</p>  <p>カバー</p>

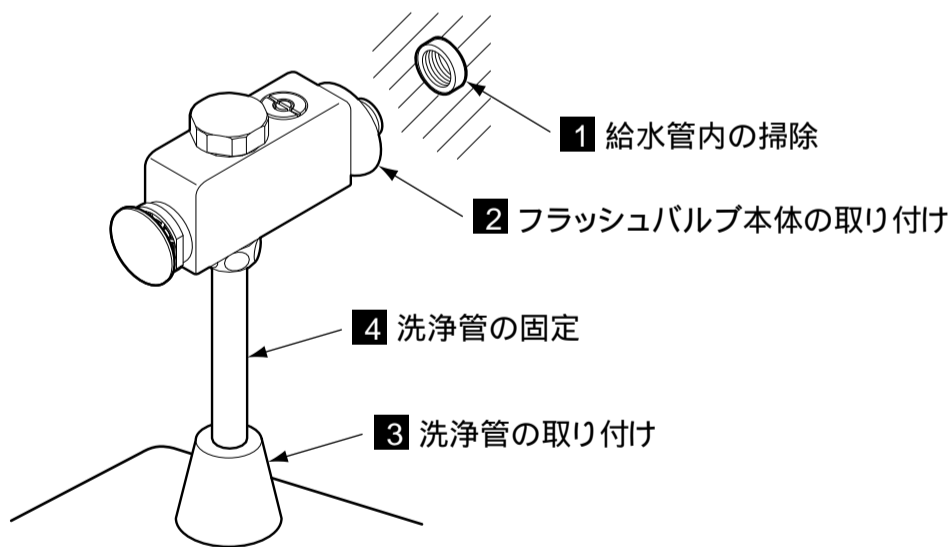
品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

5 完成図

品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。また、既設の小便器の品番により取り付け寸法が異なります。

T600型	TG600型
 <p>58 89 2 35 (54) 14 46.9 40 (162.5) PJ1/2</p>	 <p>76 89 2 33 (56) 14 68 48 34 5 (165) PJ1/2</p>
<p>寒冷地用</p>  <p>45 15 PJ1/2</p>	<p>寒冷地用</p>  <p>52 6 PJ1/2</p>

6-1 施工手順(T600型の場合)



- 1 給水管内の掃除
- 2 フラッシュバルブ本体の取り付け
- 3 洗浄管の取り付け
- 4 洗浄管の固定

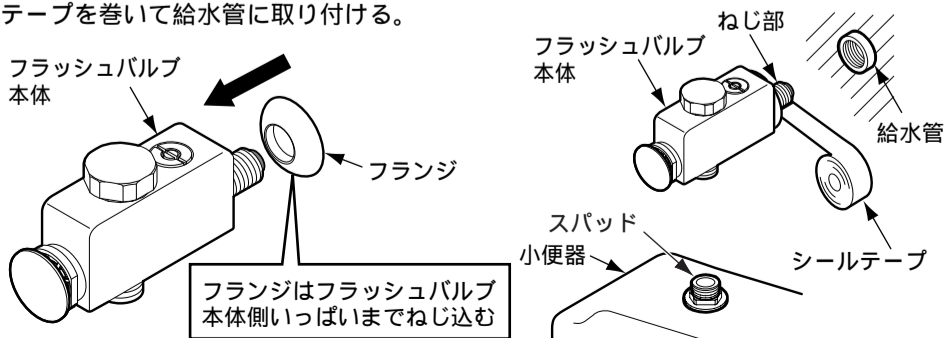
1 給水管内の掃除

商品を取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

2 フラッシュバルブ本体の取り付け

フラッシュバルブ本体のねじ部にシールテープを巻いて給水管に取り付ける。



フラッシュバルブ 本体
ねじ部
給水管
シールテープ
スパッド 小便器

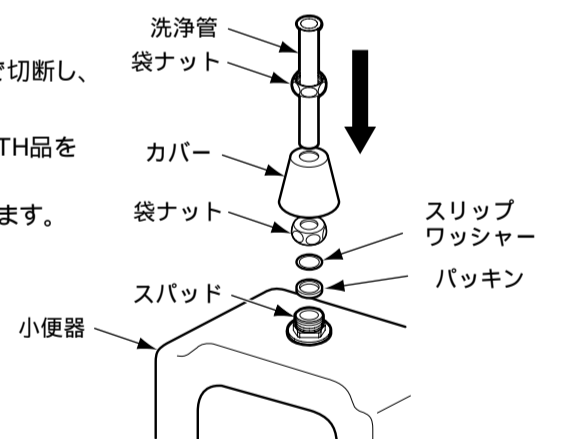
フランジはフラッシュバルブ本体側いっぱいまでねじ込む

3 洗浄管の取り付け

長さが長い場合はパイプカッターで切断し、調節してください。

また、曲管の場合はオプションのTH品をご購入願います。

印部品は小便器に同梱されています。



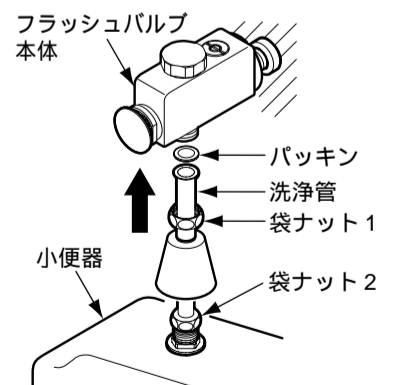
洗浄管
袋ナット
カバー
袋ナット
スリップワッシャー
パッキン
小便器

4 洗浄管の固定

袋ナット1にパッキンを入れてねじ込み、洗浄管をフラッシュバルブ本体に固定する。

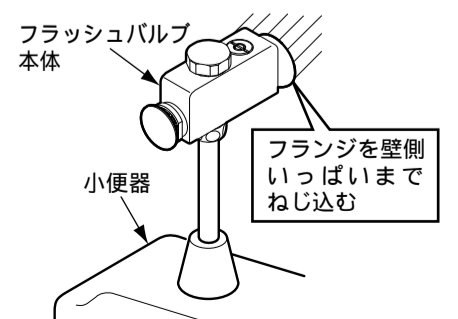
袋ナット2をまず手で軽く締めたあと、工具で半回転程度締める。

袋ナット2は、強く締めすぎないようにしてください。スパッドが共回りし、水飛びや洗浄不良の原因になることがあります。



フラッシュバルブ 本体
パッキン
洗浄管
袋ナット1
小便器
袋ナット2

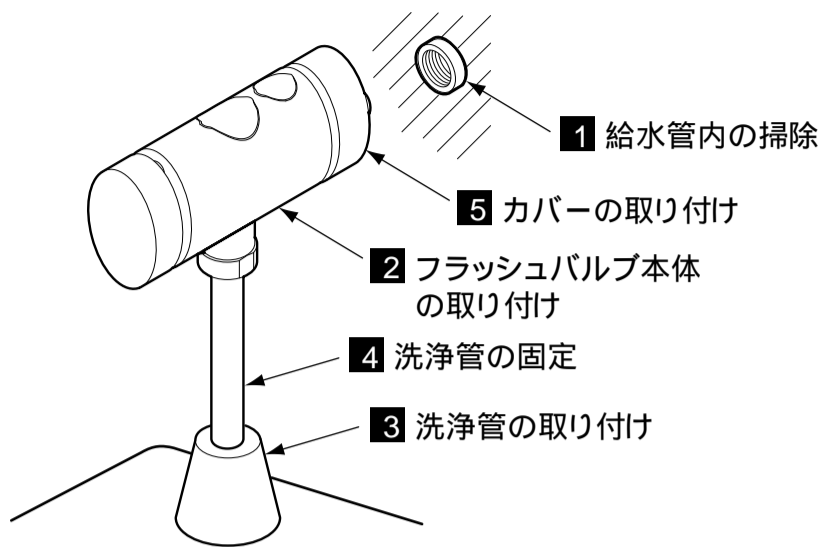
フランジを壁側いっぱいまでねじ込み、フラッシュバルブ本体を固定する。



フラッシュバルブ 本体
小便器

フランジを壁側いっぱいまでねじ込む

裏面へつづく



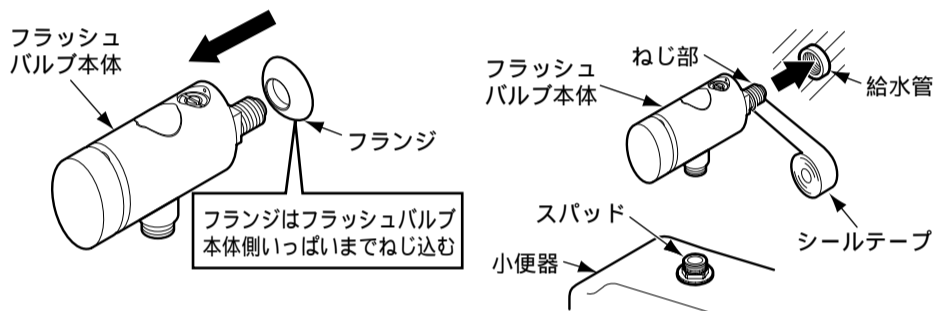
1 給水管内の掃除

商品を取り付ける前に**必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

2 フラッシュバルブ本体の取り付け

フラッシュバルブ本体のねじ部にシールテープを巻いて給水管に取り付ける。



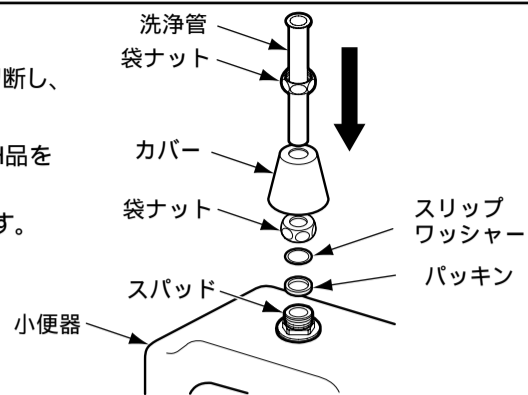
フランジはフラッシュバルブ本体側いっぱいまでねじ込む

3 洗浄管の取り付け

長さが長い場合はパイプカッターで切断し、調節してください。

また、曲管の場合はオプションのTH品をご購入願います。

印部品は小便器に同梱されています。



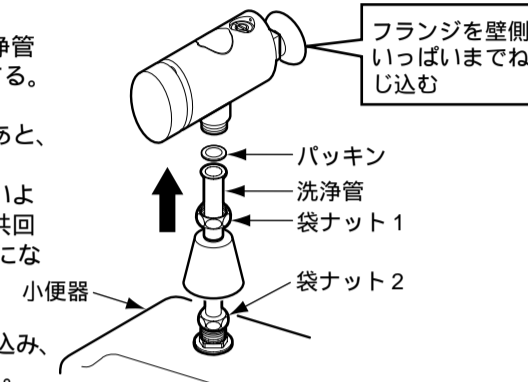
4 洗浄管の固定

袋ナット1にパッキンを入れて洗浄管をフラッシュバルブ本体に固定する。

袋ナット2をまず手で軽く締めたあと、工具で半回転程度締める。

袋ナット2は、強く締めすぎないようにしてください。スパッドが共回りし、水飛びや洗浄不良の原因になることがあります。

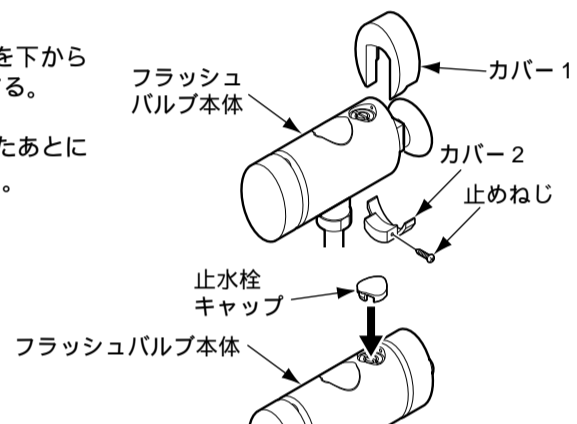
フランジを壁側いっぱいまでねじ込み、フラッシュバルブ本体を固定する。



5 カバーの取り付け

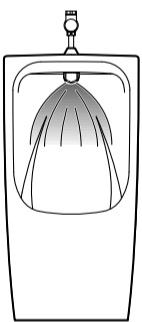
カバー1を上から、カバー2を下から取り付けて止めねじで固定する。

「7 施工後の調節」を行ったあとに止水栓キャップを取り付ける。



1. 水出し確認

取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、小便器に洗浄水が出るか確認してください。
また、合わせて取り付け接続部に腐食、ひび割れ、水漏れなどのないことを十分お確かめください。



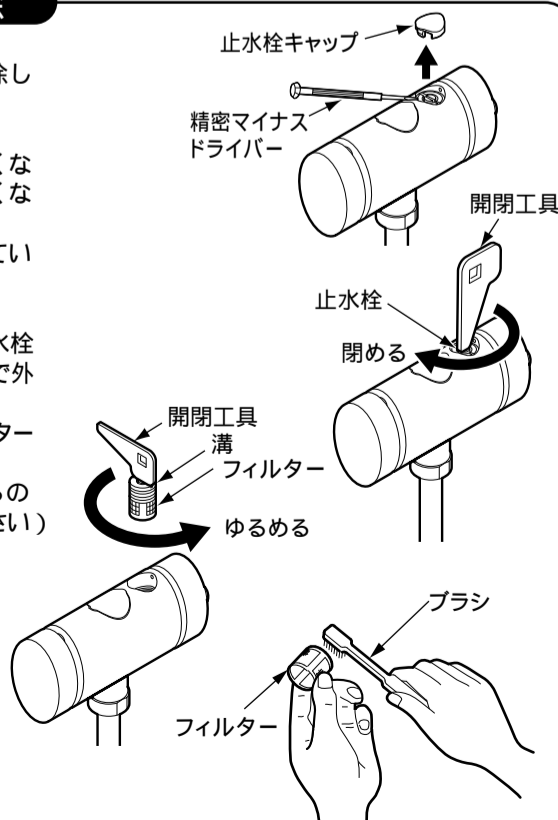
2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。

また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。

フィルターを掃除する際は、止水栓キャップを精密ドライバーなどで外し開閉工具で止水栓を開めます。開閉工具を溝に差し込み、フィルターをゆるめて取り出します。
(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れと点検」を参照してください)



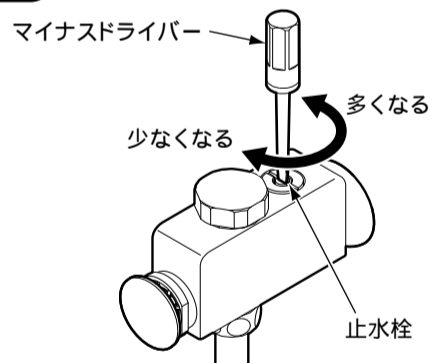
3. 洗浄水量および水勢の調節

T600型

マイナスドライバーなどで止水栓を回す。

時計回り.....洗浄水量が少なくなり、水勢が弱くなります。

反時計回り.....洗浄水量が多くなり、水勢が強くなります。

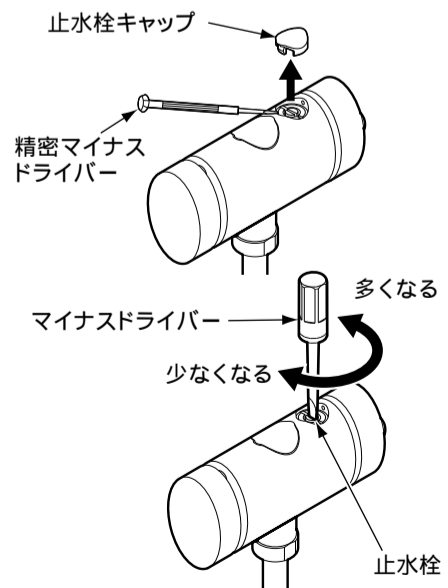


TG600型

1. 止水栓キャップを精密マイナスドライバーなどで外す。

時計回り.....洗浄水量が少なくなり、水勢が弱くなります。

反時計回り.....洗浄水量が多くなり、水勢が強くなります。



空気抜きについて

施工直後は配管内に残っている空気の影響で音が出ることがあります。そのときは10回程度押しボタンを押して水を流してください。止水栓を反時計回りに回して水量を多くすると早く空気が抜けて音が消えやすくなります。

7-2 施工後の調節（高圧時の場合）

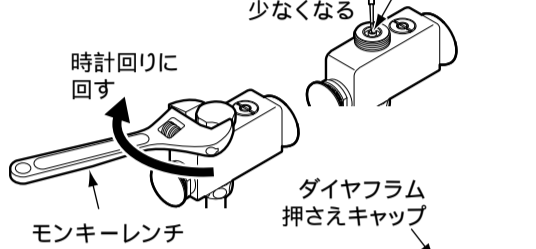
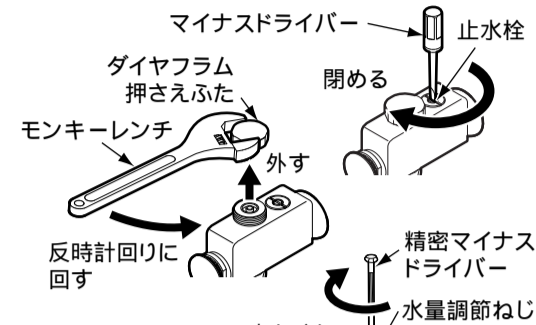
止水栓での調節のみで洗浄水量および水勢の調節を行うことが基本的な操作ですが、万一、水勢は満足だが洗浄水量が多いと思った場合は（高圧時のみ）下図の要領で調節を行うことができます。逆にこの手順で洗浄水量を多くすることはできませんのでご注意ください。

その場合は、7「洗浄水量および水勢の調節」の手順に従って再度調節ください。

必要以上に水量調節ねじを締め過ぎると、洗浄不良やごみかみによる止水不良の原因となります。

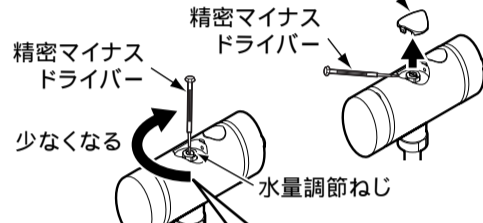
T600型

1. マイナスドライバーなどで止水栓を閉める。
2. ダイヤフラム押さえふたをモンキーレンチなどで反時計回りに回して外す。
3. 水量調節ねじを精密マイナスドライバーなどで時計回りに回す。
4. ダイヤフラム押さえふたをモンキーレンチなどで時計回りに回してしっかり締め付ける。その後、止水栓を開けて洗浄水量の確認を行う。



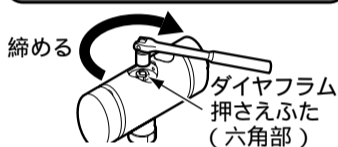
TG600型

1. ダイヤフラム押さえキャップを精密マイナスドライバーなどで外す。
2. 水量調節ねじを精密マイナスドライバーなどで時計回りに回して洗浄水量を調節する。



ダイヤフラム押さえふた（六角部）はゆるめないでください。誤ってゆるめた場合は工具を使って確実に締め付けてください。漏水や音発生の原因になります。

ダイヤフラム押さえふたを誤ってゆるめた場合

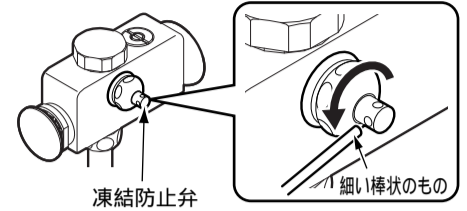


8 寒冷地用の凍結防止方法

凍結のおそれのある時期に施工された場合は、凍結防止を行っておいてください。また、お客様にも凍結防止方法をご説明ください。

凍結防止弁の穴に細い棒状の物を差し込んで、反時計回りに回す。

常に少量の水が便器内に流入し、凍結を予防します。



夏期など凍結のおそれのない場合には、必ず凍結防止弁を閉めてください。

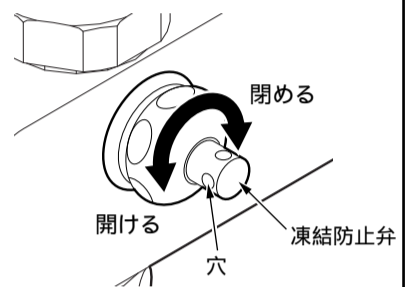
取り扱いの注意点

商品の機能が十分発揮されるように、下記のことをお客様に十分ご説明ください。

凍結防止弁の調整

冬期など凍結のおそれがある時期

フラッシュバルブの側面に設けられている凍結防止弁の穴に細い棒状のものを差し込んで、弁を開けてください。このとき凍結防止のため、常に少量の洗浄水が小便器の方に流れていることとなります。



夏期など凍結のおそれがない時期

凍結防止弁を回して弁を閉めてください。

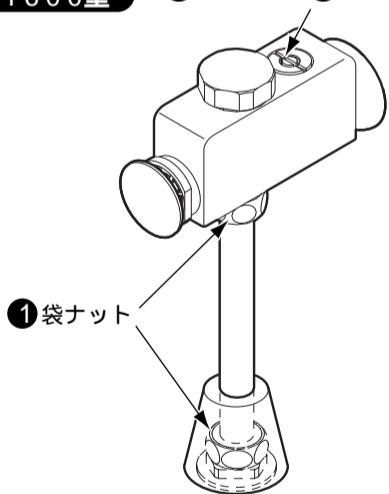
冬期など凍結のおそれのある時期に、凍結防止弁を閉めたままにしておくと、内部の水が流動しないため凍結して部品が破損し、故障の原因となりますので十分ご注意ください。

9 点検項目

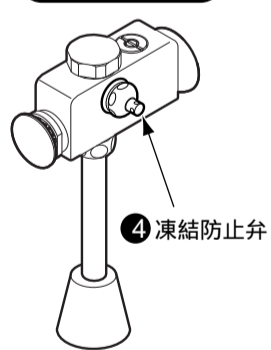
取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

T600型

- ② フィルター ③ 止水栓



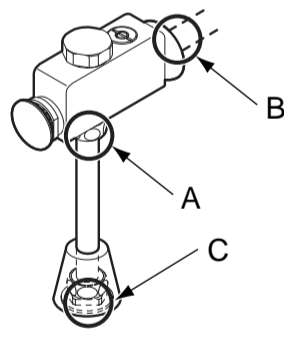
寒冷地用



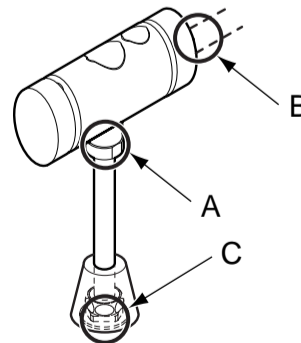
水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

T600型



TG600型



A・Cから水漏れがある場合

パッキンが入っているか確認後、再度袋ナットを締め直してください

Bから水漏れがある場合

配管に腐食・ひび割れなどがなく確認のうえ、再度取り付け直してください。

ガッツキの確認

ガッツキがないか確認してください。

① 袋ナットのゆるみはないですか？

T600型の場合

➡ 6-1 - 4「洗浄管の固定」参照

TG600型の場合

➡ 6-2 - 4「洗浄管の固定」参照

流量および凍結防止弁の確認

流量が少ないときや、洗浄水量調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

② フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ 7-1 2. フィルターの掃除 参照

③ 止水栓は開いていますか？

➡ 7-1 3. 洗浄水量および水勢の調節 参照

④ 凍結防止弁の確認

➡ 冬季など凍結の恐れがある時期 ➡ 開ける
➡ 夏季など凍結の恐れがない時期 ➡ 閉める

➡ 8「寒冷地用の凍結防止方法」参照

同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。